



"遊び"ながら  
"学ぶ"って？

多世代交流イベントを体験しよう！

# "学び"でつながる 多世代交流イベント体験 ワークショップ

みんなで楽しめる  
"学び"って？



## レポート



## ■ ワークショップ目的・内容

- 今後新たに整備予定の施設で展開するサービスについて、市民の皆さまの声を聞くことを目的に実施。
- “多世代交流につながる学び”をキーワードとしたワークショップを通じ、新施設での運営サービスの一部を体感していただいた上で、声をいただき、新施設で展開するサービス内容に反映していくことを目的とした。

## 新しい施設での“学び”“交流”を体感し、一緒に考えませんか？

新しい施設でできる“学び”や“交流”を体感し、一緒に考えていきましょう

南城市では、新しいまちづくり交流拠点となる施設の建設に向けて準備を進めています。新しい施設は、図書館や書店、サークル活動ができる部屋、健康スタジオや子どもたちが遊べるプレイルーム、学生や大人の勉強スペースなどがひとつになった複合施設です。

赤ちゃんから大人・ご高齢者までが、学び、集い、そんな施設でどんなことがあったらいいか、みんなで一緒に考えてみませんか。



# ■ ワークショップ募集概要

## ● 募集時期

2025年2月26日(水)～3月6日(木)9:00

(当初は3月12日を締切にしていたが、  
3月6日9:00で定員が集まり、締め切った。)

## ● 募集方法

- 南城市役所HPにて掲載
- 市役所、コンソーシアム企業関係者からの声かけ
- KUMON指導者経由での声かけ

多世代交流イベントを体験しよう!

"学び"でつながる  
多世代交流イベント体験  
ワークショップ

3.15 ± 13:00-15:00

南城市役所  
3階 共有スペースで開催!

### ワークショップの目的

今後新たに整備予定の施設で展開するサービスについて、市民の皆さまのお声を聞くためのワークショップです。"多世代交流につながる学び"をキーワードとしたワークショップを通じ、市民の皆さまに新施設での運営サービスの一部を体感いただき、お声をいただきたいと考えています。いただいたお声を新施設で展開するサービス内容に反映していくことを目的としています。

### 対象/募集人数

- 市内在住、在勤、在学の方
- 未就学児（3歳前後）から大人まで
- 先着20人程度
- ※ 未就学児・小学生のお子様は保護者様と一緒にご参加いただくよう、お願いいたします。
- ※ 親子参加、家族参加、大歓迎!
- ※ 近所のおじいちゃん・おばあちゃん、お友だちを誘って一緒にいらしてください。

### ワークショップの内容

- 01 セミナー**  
こどもも大人も"学び"が楽しくなる?!  
楽しく"学ぶ"秘訣をお伝えします  
～講師：(株)公文教育研究会の社員～
- 02 体験してみよう**  
認知症予防のための脳のトレーニングや最新の知育玩具など、さまざまな"学び"をみんなで体験します  
(予定) 脳トレ、英文字、STEAM、知育
- 03 交流タイム**  
ワークショップの感想や新施設のサービスに期待することなどをきかせてください

### 申し込み方法

QRコードからの電子申請、または持参、郵送でのお申し込みの場合は下記申込書をご利用ください。

**◆申込期限** 2025年3月12日(水) 12:00必着

※本ワークショップでは、会場内の写真・映像がその広報紙やHPなどに掲載する場合がございます。予めご了承の上、ご参加ください。  
※本ワークショップの成果については、今後の対象の集約の参考として活用させていただきます。

申し込みフォーム

<お問い合わせ先>  
南城市公民連携課  
〒901-1495  
沖縄県南城市佐藤字新屋1570番地  
TEL: 098-917-0364  
FAX: 098-917-5424



≪切り取り線≫

※QRコードをご利用されない方は、下記の必要事項をご記入の上、3/12(水) 12:00までに南城市公民連携課までご提出ください。

フリガナ	年齢	お住まいの地区	メールアドレス
代表参加者名			
一緒に参加される方のお名前/年齢	一緒に参加される方のお名前/年齢		
一緒に参加される方のお名前/年齢	一緒に参加される方のお名前/年齢		



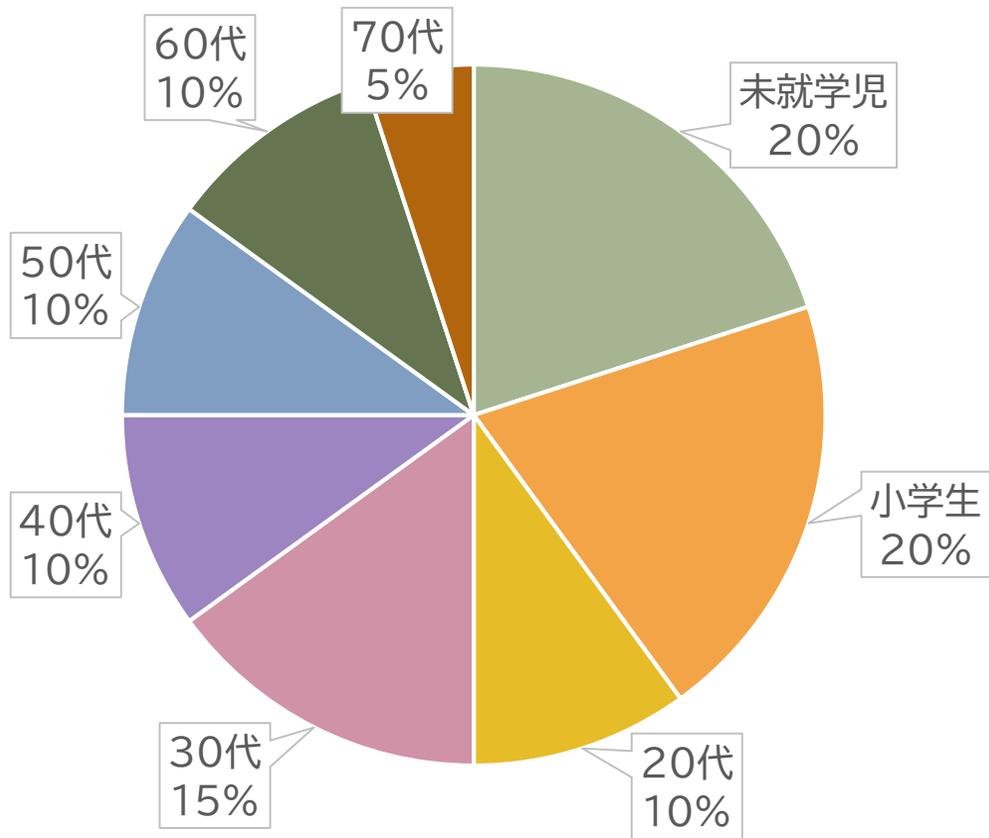
## ■ ワークショップ実施概要

- 日 時:令和7年3月15日(土)13:00~15:00
- 場 所:南城市役所3階共有スペース
- 参加者:0歳~70代までの南城市民20名(6家族)  
※ほか、南城市役所職員、共同事業者社員なども参加
- 当日の流れ:
  1. オリエンテーション
  2. セミナー“学びを脳から科学する”
  3. ワークショップ  
脳を活性化させる学び  
心が落ち着く学び  
新しい学び
  4. 交流タイム(ヒアリング)

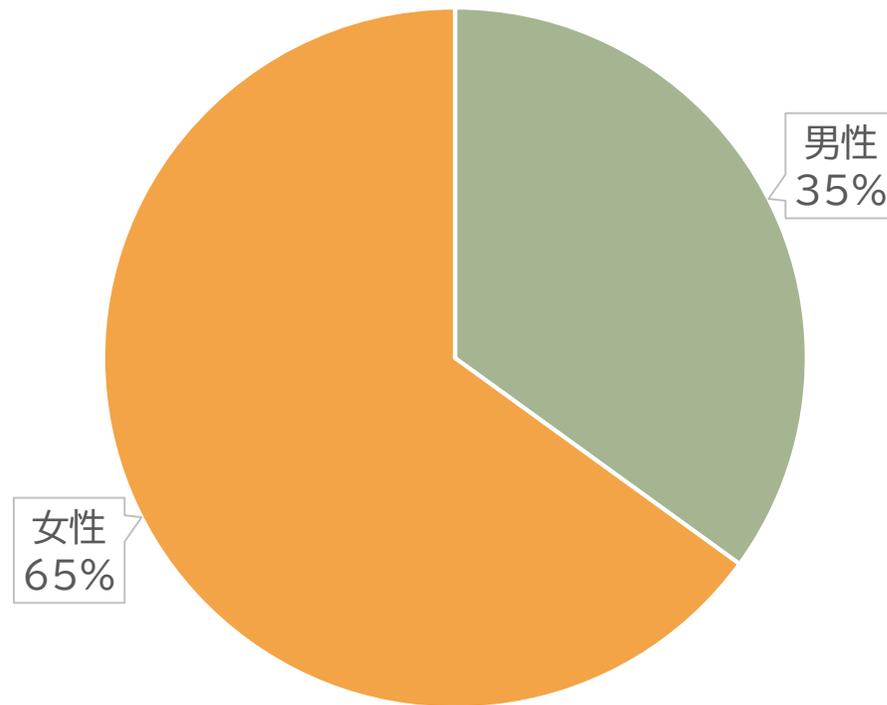


# 参加者属性

## <年代>



## <性別>



\*年代・性別の集計は一般参加の市民のみ

## ■ セミナー“学びを脳から科学する”

- 脳から見た“学び”をテーマにセミナーを実施
- クイズを取り入れながら、どんな刺激がどのように脳に働くのかなど、ワークショップの土台となる脳に関する基本的なレクチャーをおこなった



みなさん、  
「学び」と聞いて何を思い浮かべますか？

学校の勉強？  
子どもがやるもの？

学び

めんどくさい？  
たのしい？

あそび？  
人と話す？



## ■ ワークショップ

	主な内容	
①脳を活性化させる学び (脳の健康教室)	<ul style="list-style-type: none"><li>●簡単な音読や計算</li><li>●数字並べのタイムトライアル</li></ul>	
②心が落ち着く学び (書写)	<ul style="list-style-type: none"><li>●「なんじょう」「南城」の文字のワンポイントレッスン</li><li>●鉛筆を使って文字を実際に書く</li></ul>	
③新しい学び (STEAM教育)	<ul style="list-style-type: none"><li>●つまようじとお菓子を使っていろいろなかたちを作る</li><li>●作るときに考えたことを共有する</li></ul>	

## ■ ワークショップ ～参加者の声より～

- 脳トレや美文字など楽しいコーナーがあり、うれしかった。
- 難しいことだけが学びでないことに気づいた。
- 字をきれいに書くのが夢なので、先生から“ゆっくり書く”というポイントが聞けて良かった。
- 子どもメインのイベントと思っていたけれど、自分が必死に楽しんでた。
- 新しい遊びができて楽しかった。
- 子どもが楽しんで集中して学んでいたのがよかった。子どもも大人も夢中になれる経験が素晴らしいと思った。

- 子どもからと大人まで学べたからうれしかった。
- 孫が喜んでやりそうなものがあり、一緒にやってみたいと思った。
- 家で一人ではやらないことも他の人との体験は素直に参加できるように楽しかった。
- 自分と違う発想を知れたり、周りの反応を見ているだけでも面白かった。
- 多世代交流はとても新しく感じた。
- 普段、地域の人とふれあう機会がなかったので、楽しいワークができて良かったです。
- 70～80代の高齢者の方の参加がもっとあったらいいと思った。
- 交流イベントの良さを感じた。

**学ぶ楽しさ** と **世代を超えた人との交流の喜び** の  
体感が生みだすことができた

## 交流会

●“学び”や“多世代交流”について、グループごとに意見交換を実施



## 交流会

“学び”や“多世代交流”について、皆様のご意見をきかせてください。

◇体験の感想をシェアしてみましょう

◇皆さんの普段の生活について、教えてください

- ・ 普段、地域の中でよく行く場所、お気に入りの場所
- ・ 人と会ったり話したりしたい時に行く場所
- ・ 家庭や職場・学校以外で、安心できる場、居場所、といえる場はありますか？
- ・ 普段、地域の情報をどこで見ますか

☆「多世代の交流」の機会として、いまどのようなこと（場や施設、イベントなど）がありますか？

☆地域交流を実施している団体や個人などで思いつくところがありますか？

◎学びや脳の健康などについて、いま取り組まれていることはありますか？

◎どのような学びだと楽しいと思いますか？

◇“学び”や“地域交流”“多世代交流”について、こんなことができたらいいなと思うことを教えてください

◎新たにできる施設で、学びたいこと、知りたいこと、体験してみたいことはありますか？

☆地域の中でどんなつながりができたらいいなと思いますか？

## ■ 交流会 ～参加者の声より～

### ● 普段の生活について【現状】

#### 居場所

- 学校や家以外でこどもが楽しめる居場所がほとんどない。4年生で学童が終わると特にないと感じる。家でYouTubeなどを見て過ごすことが多い。
- ショッピングセンターは好きだが、子どもには自然の中でもっと遊んでほしい。
- 図書館には行くが、遠かったり、暗くて怖い印象のところもある。
- 公民館がなくなって、身の回りで歩いて行けるところが少ない。

#### 地域とのつながり、人との交流

- 地域との接点、自世代以外との接点はない。
- お年寄りやこどもが集まる場はあるが、世代で交わる交流はない。お守りくらい。
- 各自治体の行事が少なくなっている。
- 公民館のサークル活動や趣味の集まりはある。

### ● 普段の情報収集

- 広報誌は読んでいる。
- SNSも使用している。イベント告知はハッシュタグなどで工夫してもらえるとよいのでは。
- 今回のようなHPの告知はあまり知らない市民が多い。

## ■ 交流会 ～参加者の声より～

### ●こんなことができればよいなと思うこと 【理想】

#### 場のイメージ

- 多世代、いろいろな年代の人がいろいろな刺激をもらえる場になるとよい。
- 能動的になれるような教材などがあって、学びが深められるとよい。
- 子どもが自由に遊べるスペース、子どもが自分で参加できるイベントがあるとよい。(入館状況がわかるアプリなど)
- 子どもが自発的になれるような場やきっかけがあるとよい。
- 図書館に学べる場があるとよい。靴をぬいで入れるようなところがあるとよい。

#### 地域とのつながり、人との交流

- 同世代の悩みを共有できる機会があるとよい。(例えばパパと子ども、小学校入学前の親)
- 多世代との交流は必要。多世代でイベント的に交流のチャンスがあって、それぞれ目的別・世代別の場の提供があるとよい。
- AIを活用した遊び、伝承遊び、英語など、子どもから大人までが一緒に楽しめて、その中で自然発生的な交流が生まれるとよい。
- 老若男女が協力してできる町づくり

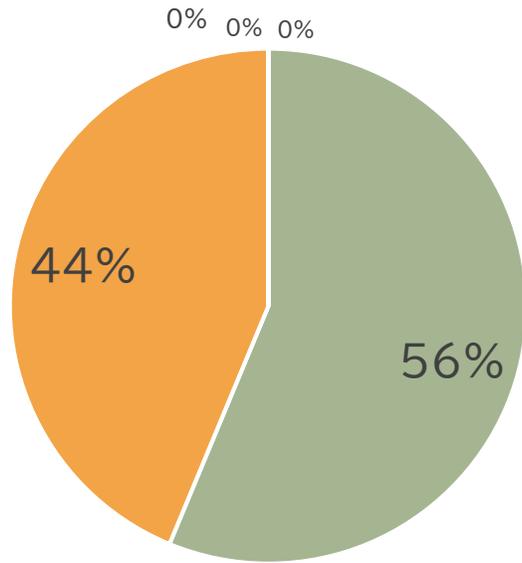
### ●その他

- 地域的情報を気軽キャッチできるように、LINEや電子版広報なども活用して、探さなくても情報が入ってくるとありがたい。
- 気軽に行けるための手段も整えてほしい。

# ■ アンケート ～参加者の声より～

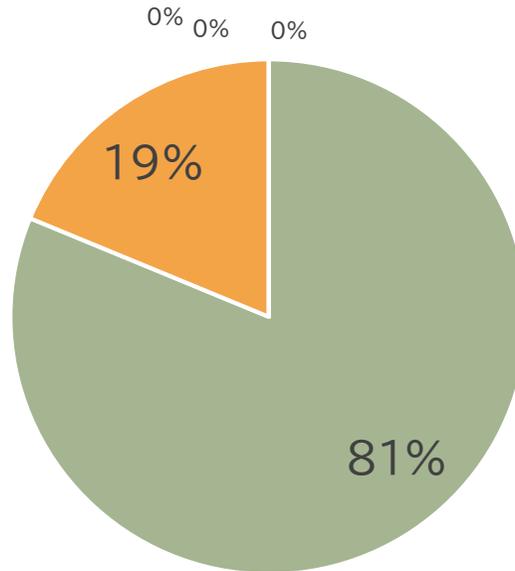
●さまざまな“学び”を体験しての気持ち

## 楽しかった



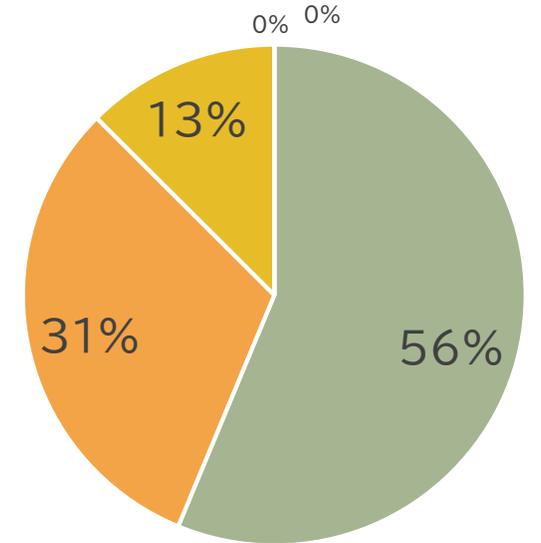
楽しかった 5 4 3 2 1 つまらなかった

## 新しい学びがあった



新しい学びがあった 5 4 3 2 1 新しい学びがなかった

## またやってみてみたいと思った



またやってみてみたいと思った 5 4 3 2 1 もうやりたくない

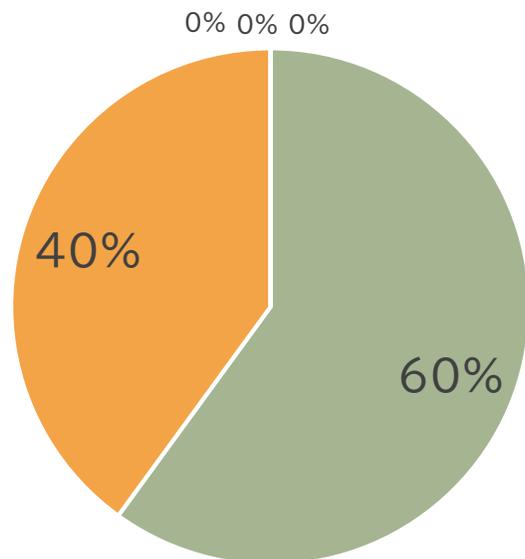


\*2点以下の評価はなし

## ■ アンケート ～参加者の声より～

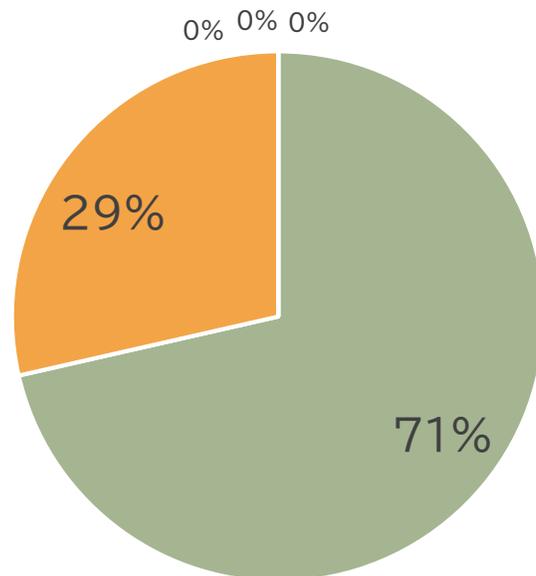
● “多世代”の人と一緒に体験してみたの気持ち

### 楽しかった



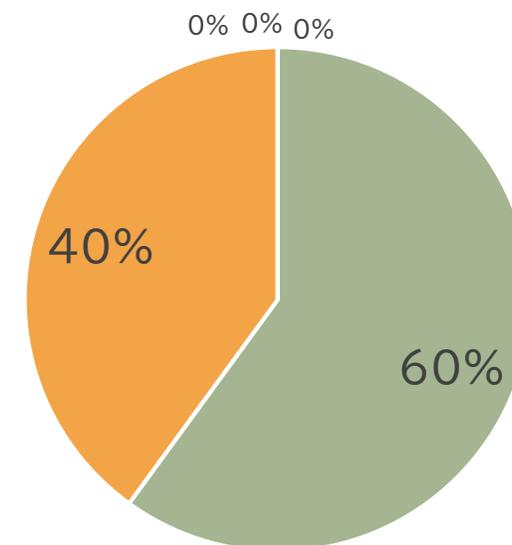
楽しかった ■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 つまらなかった

### 新しい学びがあった



新しい学びがあった ■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 新しい学びがなかった

### またやってみてみたいと思った



またやってみてみたいと思った ■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 もうやりたくない



\*3点以下の評価はなし

## ■ アンケート ～新しい施設への期待感～

地域全体で「**楽しく学ぶ**」場所として利用できる  
といいなと感じました。**縦のつながり**ができると、  
子どもから大人まで**楽しい**場所になると思いま  
した。完成したら遊びに行きます。

たくさんの方が**集える楽しい**  
場所を期待しています。

**いろいろな世代との交流**が実現で  
きるととても素晴らしいと思いました。

“とりえあえず”あそこに行つ  
けばOK♪みたいな**気軽**に行  
ける場所になってくれるとうれ  
しいです。

市民が**気軽**に利用  
できる施設になるこ  
とを期待します。

みんなが**楽しみ**にして、行き  
たくなるようなプログラムを！

皆が**楽しめて**、**いろんな世代**と話した  
り、声をかけたりできるといいなと思  
います。おじいちゃんおばあちゃんとも一  
緒にお話を聞けるといいなと思います。

Nバス1本で来られるので、子ども1人でも行くこ  
のできる施設の完成は待ち望んでいます！！

今日のように**学べる**場所が  
あるといいです。

キーワード ⇒ **学ぶ** **交流・つながり** **楽しい** **気軽に**

## ■ 振り返り・考察

### 1. 新施設に市民が期待する要素の抽出

幅広い世代が参加する体験型ワークショップを通じて、参加者に“学び”“交流”を体感いただき、期待感・ワクワク感を醸成し、新施設への興味・関心を喚起することができた。その中で新施設に市民が期待する要素が見えてきた。



⇒ 新施設の開業後のサービスにおいて、重要な要素として検討を進める

## ■ 振り返り・考察

### ● 要素の分析

	参加者の様子、参加者の声より	開発にあたっての視座
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ ワークショップでは、子どもから大人までが夢中になって“学び”を楽しむ姿があった。</li></ul>	さまざまな世代がそれぞれ能動的になれる学びの場やサービスの提供・工夫を検討
交流・つながり	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ “学び”と一緒に経験することで、他の人の考えを“知る”“学ぶ”につなげていた。大人が子どもの視点を学ぶ様子も見られた。</li><li>▶ 多世代交流を必要としながらも、同世代交流を求める声もあった。</li></ul>	目的によって、バリエーションのある、さまざまな交流の場やサービスの検討が必要
楽しい	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ みんなが楽しいと思える場所にしてほしいという期待感が多い。</li></ul>	施設に訪問することで得られる充実感を生み出せる仕かけや仕組みを検討
気軽に	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 気軽に行ける、気軽に楽しめる場所にしてほしいという声が多数。</li><li>▶ 居場所として求める声もあり。</li></ul>	場やサービス検討において、市民がより利用しやすくなるための工夫が重要

## 2. 新施設開業に向けて

### ●新施設開業・運用に関する広報活動の充実

参加者の声より、新施設開業に向けた広報活動にSNS等の活用の検討も有効と考えられる。より多くの市民を巻き込んで、新施設への興味・関心を喚起することができるのではないだろうか。また、開業してからもSNS等を活用してのイベント告知などを行うことで、市民にとって、より身近な存在としての拠点を演出することができると考えられる。

### ●高齢者の巻き込み

ご高齢の方にとって自宅から距離のある拠点に行くことはハードルも高い。だからこそ、身近な若い世代からの声かけがより重要になってくる。交通などのハード面の整備は難しいかもしれないが、まずは新施設のことを理解し、“一緒に行きましょう”と誘える市民を増やしていくことで、より活発な多世代交流を生み出せるのではないだろうかと考える。

